

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立芦原小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-8155
愛知県豊橋市芦原町嵩山地 42-1

E-mail ashihara-e@toyohashi.ed.jp
Website http://www.ashihara-e.toyohashi.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 224名 女子 242名 合計 466名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は多種の樹木が植えられている学校である。それは、開校の時、地域住民がいろいろな樹木の苗を学校に寄付し植栽したからである。樹木は幹・葉・花・実など、それぞれ特徴があり、環境に適応して成長しようとしている。児童が樹木の種類やそれぞれ樹木の違いを知ることが、生物の多様性を認識することである。生物の多様性を認識し、地球上に生きるそれぞれの生き物の特徴や営みを受け入れることは、これからも地球で他の動植物と共に生きていかなければならない人間として、大切に基本的な姿勢である。

そこで本校では、「多様性の認識を軸とした学校と地域づくり」を活動テーマに校内の樹木の多様性を知ることから出発し、様々な多様性について学習活動を展開している。ESDへの取り組みの入り口として、校内の樹木の多様性を知る活動を行っている。さらに、草花や野菜の栽培を通して多様性の認識の範囲を広げ、高学年では国際理解や防災教育まで、多様性を軸とした教育活動を展開したいと考えている。そこで、以下に示す4つの活動を計画した。

(1) 植物の多様性を知る活動

- ① 校内の樹木約 80 種に樹木名表示器「この木なんの木」を設置する。そして、これを活用して楽しみながら児童が樹木の名前や特徴を覚えられるようにする。
- ② 「この木なんの木」を活用するため、4 年では一人一本のお気に入りの木を決め、調べ活動や絵を描く活動などを通して、木への関心を高める。その活動を全校にも紹介する機会を作る。
- ③ 農園で野菜や花や米を栽培する。

自然界では様々な植物がそれぞれの方法で環境に適応しながら生きていることを知る。児童が自然に親しみながら植物を育てる体験を通して自然の大切さを学ぶ。

(2) 人々の多様性を知る活動

- ① 様々な職業のゲストティーチャーを教育活動に招く。
- ② 外国人をゲストティーチャーに呼び、いろいろな国の文化を知る。
様々な人々が違った考えや職業をもち、それぞれが幸せを求めて生きていることを知る。

(3) 地域や社会の多様性を知る活動

- ① 自分の住んでいる町の特徴を知り、よりよい故郷になるよう、環境美化や景観づくりの活動を行う。
- ② 絆コスモスの植栽。芦原駅の側道に種から育てたコスモスの苗を移植する栽培活動を行う。このコスモスの種は東日本大震災で震災した渡波中学校からいただいたものを毎年6年生が栽培し、5年生に受け継いできたものであり、今年で6年目の活動となる。
住む場所により生活や文化が違うことに気づき、他人のためにボランティア活動ができる児童を育てる。

(4) 地球規模の環境の変化を踏まえた防災教育

- ① 年5回の避難訓練の実施。
- ② 校区合同防災訓練の実施。6月に校区の方と協力して、校区合同防災訓練を行った。
(消火器、けむり避難、バケツリレー、避難所体験など)
本校が津波や洪水に弱い地域に立地していることから、地球規模の環境問題も含め防災教育も展開し、危機に強い人間を育てる。



(1) ①
樹木マップの活用



(1) ②
「この木なんの木」の紹介



(1) ③
さまざまな野菜作り



(1) ③
稲刈り



(2) ①
ゲストティーチャーから踊りを学ぶ



(2) ②
外国の文化を学ぶ



(3) ①
交通安全教室



(3) ②
絆コスモスの植栽



(4) ①
校区合同防災訓練

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「この木なんの木」 樹木図鑑	芦原小学校制作	平成 25 年 7 月改定 (WEB版)
「ふるさとミニ百科 あしはら」	芦原小学校編	平成 4 年 1 月改定
「写真記録 東日本大震災」	毎日新聞社	平成 24 年 3 月発行
「地球温暖化をふせごう」	豊橋市環境部	平成 25 年 3 月発行

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

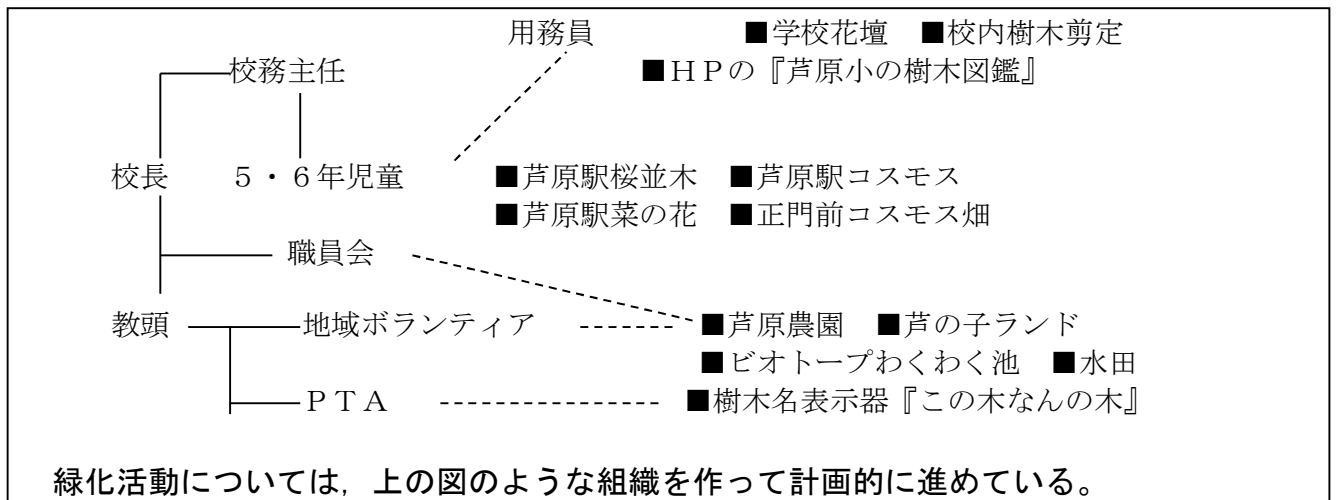
※チェック事項1-2, 1-3に対応

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
樹木に親しむ	樹木クイズ『この木なんの木』(全校)										
野菜づくり	いもづくり 1年(生活9時 図工4)										
	夏の野菜づくり 2年(生活8)				冬の野菜づくり 2年(生活8)						
	プランターで野菜づくり 2年(生活13)										
	豆の発芽と生長 5年(理科13)										
米づくり	米作り体験 5年(総合12)										
花の栽培	ひとり1鉢 1年(生活10)										
	ホウセンカ&オクラの栽培 3年(理科8)										
調理と食品加工	ジャムづくり3年(総合2)			大豆博士になろう 3年(総合12)							
						食事の工夫 6年(家庭 12)					
植物の季節変化	季節見つけ 1年&2年(生活23)										
	私の木 4年(理科4時間 図工 6)										
廃材の利用	野焼き 6年(図工2・社会2)			枯れ枝で造形 6年(図工6)							
昆虫・動物	昆虫を育てよう3年(理科 16)			生命のつながり 5年(理科 12)				生物と地球環境 6年(理科6)			
	ウサギとインコの飼育 4年生										
地域の景観づくり	芦原駅にコスモスの散歩道を 6年(総合6)			コスモス迷路 6年		コスモス種取り 6年					
	町の秘密を見つけよう 3年(総合 10)			芦原駅で菜の花栽培 5年(総合3)							
防災学習	くらしを守る 4年(社会 19)			台風と天気 5年(理科2)			流れる水の働き 5年(理科 15)				
	地震のメカニズムと避難 5年(総合 8)										
被災地支援	東日本大震災の被災地支援プロジェクト「コスモスの絆」6年(総合 23)							フィリピン被災地支援 全校			
くらし	水とくらし 4年(社会 17)				ごみの処理と利用 4年(社会 14)						
地球温暖化防止	ツルレイシで緑のカーテンづくり 4年(理科 6)					私たちの生活と自然環境 5年(理科 16)					
	天気と気温 4年(理科 6)										
国際交流	世界の国々と日本 5年(総合 12)					外国人を招く5~6年(総合2)					
世界平和											世界の平和 6年(社会6)

※テーマ 学年 (教科 指導時間数)

上のように活動を進めるためのESDカレンダーを計画し、実践している。

③学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。



④ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

児童の様々な取り組みの成果を観察記録やまとめのノート、発表から把握する。
 植物、人間、地域社会の多様性の把握については、日常の言動の深まりや取り組みの意欲から把握する。
 環境保全や防災教育に関しては、地域住民の関わりの度合いも評価に含める。
 上記の評価と共に、年間3回の保護者アンケートをもとに、学校評議員会においてESD活動の有効性を検証し、改善していく。

⑤ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

平成28年度に応募した、全国学校関係緑化推進コンクール（学校環境緑化の部）では、準特選を受賞した。
 また、ホームページ上に『芦原小学校の樹木図鑑』を掲載して、授業や家庭学習で樹木の閲覧や検索ができるようにしている。

⑥学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

行っていません。

⑦国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

行っていません。

⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

平成 28 年度全国学校関係緑化推進コンクール（学校環境緑化の部）で準特選として表彰され、ますます活動への意欲をもって実践することができている。

児童は緑化活動に関わることで、身のまわりの樹木や豊橋市の環境に興味をもち、家庭でも緑化を推進したいと考える児童が増えた。

また、学校だけではなく、PTAにも協力を得て取り組むことで、保護者にも学校で取り組んでいるESD活動への理解を深めている。そうした活動が認められ、本校PTAが学校緑化協力団体としてノースロップ賞を受賞した。

（3）平成 30 年度の活動計画

今年度と同様にESDカレンダーを参考に各教科で取り組んでいく。

総合的な学習の時間の活動計画を立てる。各学年で下に示す単元で、それぞれ目標を定めている。

第3学年では「食育」「環境」をテーマに①おやつと健康、②発見 芦原の秘密、を計画する。①はオクラの栽培や「やまももジャム」づくりやおやつ調べを通して、体のことを考えた食べ物のとり方を考えることを目標にする。②は芦原校区にある公園や鉄道、店などの様々な施設の歴史や秘密を調べていくことで、そのよさに気づき、大切にしていこうとすることを目標にする。

第4学年では、「環境」「キャリア」をテーマに①まあるいいのち②二分の一成人式、を計画する。①は動物の飼育体験や樹木の観察を通して、生命尊重の心を育てることを目標にする。②は様々な職業の魅力を知り、自分の将来について考えることを目標にする。

第5学年では「食育」「福祉」をテーマに①一粒の米、②共に生きる、を計画する。①は米作りの苦労を味わい、食べ物の大切さに気づくことを目標にする。②は保育園との交流を通して、年下の子を支える充実感を味わうことを目標にする。

第6学年では「防災」「福祉」をテーマに①コスモスの絆、②コスモスの道、を計画する。①は自分の命を守ることを大切さを考えること、被災者の気持ちを理解して、共に生きていこうとする気持ちを高めることを目標にする。②は、将来の夢や職業など自分の進路について考えることを目標にする。

年度初めに単元構想図を作り、年間を通して計画的に進めていく。